

令和2年度

研究の概要

1 研究主題

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成 ～自ら考え、自他共に認め高め合う道徳教育を通して～

2 研究主題設定の理由

本校では、平成30年度、令和元年度の2年間にわたって「自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成～自ら考え、自他共に認め高め合う道徳教育を通して～」を研究主題として取り組んできた。

昨年度は、これまでの実践を元に、児童の自己肯定感を高めること、周りの人と積極的に関わり、互いのよさを認め合う児童の姿をめざして取り組んできた。

自分づくり部では、心タイムでの同学年、異学年の児童間でのよさ見つけの活動を、教師や保護者にも広げて取り組んだ。さらに、エンカウンターでは、対話を取り入れた活動を計画、実践した。このような取り組みを続けてきたことで、自分にはいいところがあると思える児童の割合は、少しずつ増加してきている。今後は、児童が主体的に活動できるような手立てや活動が活性化するような内容の見直しをしていくことが必要であると考えている。

仲間づくり部では、道徳的価値を意識した体験活動を行い、活動後に自分のよさ、友だちのよさ、これからの自分についてふり返ることで、児童の学びを目に見える形にし、その活動を次に生かせるように取り組んできた。また、重点目標である「命を大切に作る取り組み」については、命の授業、児童集会、講演を通して、自分のことや家族のこと、支えてくれる周りの人のことについて考え、自分を大切な存在だと感じられるような取り組みを行った。また、別業の見直しを行いながら、活動をつないでいった。これらの取り組みで、様々な体験活動の中で、周りの人と関わりながら成長する児童の姿がみられるようになってきた。今後は、これらの取り組みを継続しながら、児童が自ら考え、目的をもって活動できるような取り組みも進めていきたい。

学びづくり部では、考えを深めたり広げたりするために、対話活動を取り入れた授業を実践した。ねらいを明確にし、手立てを取りながら対話活動を行ったことで、生き生きと学ぼうとする児童の姿、自分の考えをもち、周りの人と積極的に交流する児童の姿が見られるようになってきた。また、対話活動の中で、子ども達の考えが広がったり深まったりするような場面も見られるようになってきたが、まだ、十分とはいえない状態である。今後は、今までの成果を生かしながら、系統性を意識した取り組み、児童が主体的に取り組めるような手立てを考えながら、授業改善を行っていきたい。また、道徳ノートについても、教師が児童の成長を見取ることに加えて、児童が自身の成長をふり返ることができるような取り組みも進めていきたいと考えている。

以上のように、今年度は、昨年度の成果を継続しつつ、それぞれの部で課題を解決しながら研究主題に迫っていきたいと考える。

3 道徳教育の重点目標

- 目標を立てて最後までやりぬくことができる。【希望と勇気、努力と強い意志】
- 感謝と思いやりの心で接することができる。【親切、思いやり】
- 自他の生命を尊重することができる。【生命の尊さ】

4 研究の目標

自己をみつめ、他者と共によりよく生きようとする児童を育てるために、主体的に考え、他者との関わりのなかで互いの良さを認め合い、自己肯定感を高める道徳教育の実践について研究する。

5 研究で目指す児童の姿

低学年

- 自分のやるべき勉強や当番の仕事をしっかり行う子供。
- 身近にいる人やものに温かい心で接し、親切にする子供。
- 生きることのすばらしさを知り、身のまわりの生命を大切にすることを知る子供。
- わがままをせず、自分がすべきことは自分ですることを知る子供。

中学年：

- 家族など支えてくれている人々や高齢者に、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを知る子供。
- 生命の尊さを知り、生命あるものを大切にすることを知る子供。
- 自分でやろうと決めた目標に向かって、強い意志をもち、粘り強くやり抜く子供。
- 相手のことを思いやり、進んで親切にする子供。

高学年：

- 生命がかけがえのないものであることを理解し、生命を尊重することを知る子供。
- 先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくることとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努める子供。
- より高い目標を立て、希望と勇気をもち、困難があってもくじけずに努力をして物事をやり抜く子供。
- 誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする子供。

6 研究の内容と方法

(1) 自分づくり部（心のサポート活動）

- 安心して生活できる「学級づくり」や自己肯定感を高める日常活動の充実
 - ・心タイムの計画、実施（ありがとう・よさ見つけカード・対話活動・エンカウンター）
 - ・QU、心アンケート、道徳アンケートなどによる実態把握
 - ・「いじめ防止プログラム」の活用と修正
 - ・心を育む環境づくり（掲示の工夫）

(2) 仲間づくり部（豊かな体験活動）

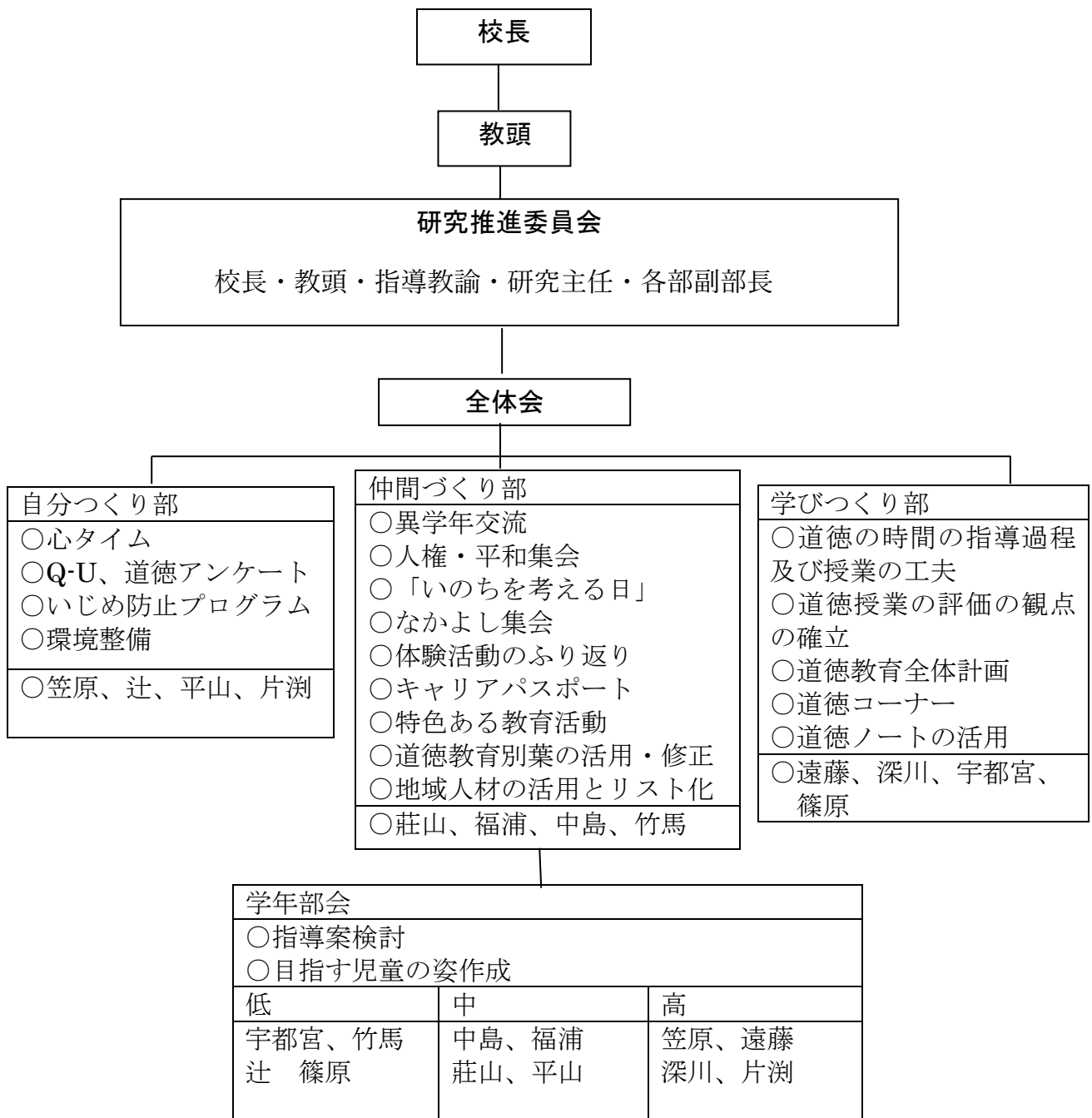
- 道徳性を育む豊かな体験活動の充実
 - ・たてわりによる異学年交流活動
 - ・人権・平和集会
 - ・「いのちを考える日」
 - ・児童集会
 - ・体験活動のふり返りの工夫
 - ・キャリアパスポート

- ・特色ある教育活動（次郎週間など）
- ・道徳教育別葉の活用と修正
- ・地域人材の発掘とリスト化（教育ボランティア）

(3) 学びづくり部（授業づくり）

- 自己を見つめ考える力を育てる道徳の時間の充実
 - ・道徳の時間の指導過程及び授業の工夫
 - ・道徳授業の評価の観点の活用（教師版、子供版）
 - ・道徳教育全体計画、学年年間計画（教科等との関連指導）
 - ・道徳コーナー（教室）
 - ・道徳ノートと自己のふり返りの工夫（評価への効果的な活用）

7 研究の組織



8 研究の年間計画

令和元年度 校内研究会日程表

月 日 (曜)	会 議 名	内 容 (概要)
4 月 3 日 (木)	第 1 回研究推進委員会	校内研究の概要と内容及び組織作りについて
4 月 15 日 (水)	第1回校内研究会	全体会：校内研究の方法と内容及び組織についての提案 部会：研究の内容と方法についての話し合い 学年部会：めざす児童像について検討
5 月 20 日 (水)	第2回校内研究会	全体会：各部からの取り組み提案
6 月 3 日 (水)	第3回校内研究会	全体会：指導案の形式、授業研究会の持ち方の提案 学年部会：研究授業日程の検討
7 月 15 日 (水)	第4回校内研究会	全体会：1学期の振り返り、夏休みの研修について 2学期以降の取り組みについて
8 月 日 (火)	第5回校内研究会	全体会：理論研究 講話「 」 講師：
8 月 日 (金)	第6回校内研究会	学年部会：指導案検討
7 月 日 (水)	第7回校内研究会	全体会：1学期の振り返り、夏休みの研修について 2学期以降の取り組みについて
9 月 日 ()	第8回校内研究会	第1回授業研究会 年 組 指導助言：
10 月 日 ()	第9回研究会	第1回授業研究会 年 組 指導助言：
10 月 日 ()	第10回校内研究会	第1回授業研究会 年 組 指導助言：
11 月 日 ()	第11回校内研究会	第 回授業研究会 年 組 指導助言：
11 月 日 ()	第12回校内研究会	第 回授業研究会 年 組 指導助言：
11 月 日 ()	第13回校内研究会	第 回授業研究会 年 組 指導助言：
12 月 11 日 (木)	第2回研究推進委員会	2学期の反省、研究紀要について
12 月 16 日 (水)	第14回校内研究会	全体会：2学期の反省、研究紀要について 部会：2学期の反省、研究のまとめ
2 月 5 日 (金)	第3回研究推進委員会	研究の成果と課題について
2 月 14 日 (金)	第15回校内研究会	研究の成果と課題について
3 月 3 日 (水)	第4回研究推進委員会	来年度の研究について